

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	障害者リハビリテーションセンター	所管課	健康福祉部福祉局障害政策課
指定管理者名	(社福)群馬県社会福祉事業団	指定期間	5 年
利用料金制	■ 導入 □ 一部導入 □ なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県伊勢崎市波志江町3030-1
指定管理業務内容	・障害者総合支援法に規定されたサービス提供に関する業務 ○日中活動 ・生活介護:食事、入浴等の介護及び医療面でのケア等 ・自立訓練:機能訓練や生活訓練による障害者の日常生活面での自立援助 ○短期入所:在宅障害者の短期間の入所(食事、入浴等の介護) ○施設入所支援:夜間の介護又は通所困難な者への居住の場の提供 ・障害者に対する診療に関する業務 ・サービスの利用料の収受等に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務 ・その他、障害者の福祉等に関し、知事が必要と認めた業務

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	83 人	
短時間雇用の職員:	31 人	合計: 114 人

3 収支の状況(令和7年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	0	人件費	543,471,982
給付費収入	758,476,154	事業費支出	151,368,574
利用料収入	4,893,662	事務費支出	77,284,911
医療事業収入	52,455,534	その他支出	4,025,004
その他収入	13,757,144		
収入合計	829,582,494	支出合計	776,150,471

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	入所・通所1,759人、短期入所807人	入所・通所1,745人、短期入所1,361人	入所・通所1,762人、短期入所1,429人
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	772,684,624	757,369,547	727,718,262

5 施設における実施事業の状況

生活介護

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
運動会	5月28日	118人	各寮で利用者の状況に合わせ、パン食い競争や玉入れボッチャなど	パン食い競争はとても盛り上がり、取ったパンやプリンを笑顔で召し上がっていました。
暑気払い	7月30日	123人	スイカ割りと行事メニューの食事	ご利用者や職員の掛け声でスイカをめがけて叩く姿は元気いっぱいでした。「割れたよ。」と嬉しそうに話されていました。
残暑払い	9月17日	120人	感染対策のため慰問は中止し行事食を提供	選択食でそれぞれに選んだ食事を楽しまれていました。
秋まつり・花火大会	10月7日	118人	太鼓の慰問と各寮での催し物(ゲームやかき氷)、夜に敷地内で打ち上げ花火	近くで迫力のある太鼓を実際に観たり、「またやりたいね」と笑顔で太鼓をたたいていました。打ち上げ花火は人工呼吸器装着の方も外に出て参加され笑顔でした。
文化祭	11月20日～24日	118人	各利用者が作成した作品を展示	ご家族も作品展示を楽しまれました。ご利用者は自分の作品や他の人の作品を褒め合って観ていました。
もちつき大会	12月3日	118人	杵と臼で利用者が参加	「よいしょ」と掛け合い、ご利用者も参加し盛り上がりました。あんこ餅やからみ餅などを「おいしい」と嬉しそうに召し上がっていました。
忘年会	12月24日	116人	職員が利用者の前で余興	演奏や踊り、クイズを職員とご利用者と一緒に楽しまれました。
新年会	1月22日	118人	歌謡バンドの慰問	華やかな衣装で歌うバンドの人に、ご利用者は「やっぱりいいね」「また聴きたい」と笑顔で話されていました。

自立訓練

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
地域クリーン活動	4月22日	13人	サービス利用者によるリハビリセンター周辺の清掃活動	「たばこの吸い殻やゴミがたくさん落ちていて残念だったが、清掃してきれいになった。」「やってみて清掃活動も大変だと感じた。」

新緑狩りツアー	5月30日	13人	利用者の親睦・交流を深めると共に、屋外移動(波志江公園、赤堀菖蒲園散策)時の訓練	「近い思ったが、車いすで移動すると坂があり大変だった。」「新緑がきれいでリフレッシュできた。」
防災訓練	6月4日 11月5日	11人 18人	日中・夜間の火災発生を想定した避難訓練	「建物外に出て敷地内で移動訓練をしていたが、サイレンが鳴らないので避難のタイミングが分かりづらかった。」
福祉情報見学会	7月15日 10月24日	11人 4人	県社会福祉総合センター福祉用具展示場見学	「一度に色々な福祉用具を見ることができ、とても参考になった。」
秋まつり	10月7日	19人	太鼓の慰問と各寮での催し物(ゲームやかき氷)	「迫力がある太鼓の演奏に感動した。」
花火大会	10月7日	10人	夜間施設敷地内での打ち上げ花火	「なかなか打ち上げ花火を見に行くことができなかったが、近くで花火が上がるのを見ることができとてもきれいだった。」
スポーツ大会	11月19日	19人	利用者、卒業生の親睦・交流を深めると共に、スカッドボールや輪投げ等の軽スポーツを体験する	「高得点を取るのはなかなか難しかった。」「みんなで体を動かすのは楽しい。」
文化祭(作品展示)	11月20日 21日	20人	利用者が作成した作品展示	「他のサービスを利用している方の作品も見ることができたのでとても良かった。」
もちつき	12月3日	14人	施設内のもちつき大会 利用者が杵を持って参加	「皆でもちをつくのは楽しかった、お昼のおもちも美味しかった。」
体験学習会	12月25日	16人	体験学習を行い、ワクワクドキドキを共有。脳内神経伝達物質(ドーパミンやセロトニンなど)が分泌され、やる気や幸福感を高める	「電動車いす、モビリティカー、立ち乗り三輪スクーター等の試乗ができ、購入の参考になった。」「おやつ作りのクッキーが美味しかった。」
訓練年始会	1月6日	12人	年の初めにご利用者が1年の目標や抱負を記録する書き初め会等	「書初めを書くことがないので、いい機会になった。」

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

令和7年10月20日～令和7年10月31日

(実施方法・回収率等)

平成29年3月より現生活支援グループの利用者は南棟と北棟に別れて居住し、南棟ではALS等難病患者専用床を設け、現自立支援グループでは生活訓練を開始したことから、利用サービスの種別毎に特徴や傾向を見極めるため細分化し集計をした。なお、生活支援グループでは、聞き取りも難しいケースがあるため、一部対象外としている。

(項目別回答集計)

No.	対象区分	①満足	②やや満足	③普通	④やや不満	⑤不満
1. 施設設備について						
①	生活介護（南棟入所）	42.1%	9.5%	43.8%	3.9%	0.7%
②	生活介護（北棟入所）	42.2%	14.1%	32.0%	10.9%	0.8%
③	短期入所	12.5%	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%
④	機能訓練（入所）	44.5%	19.4%	11.1%	19.4%	5.6%
⑤	機能訓練（通所）	63.8%	16.7%	16.7%	2.8%	0.0%
⑥	生活訓練（通所）	47.2%	27.8%	25.0%	0.0%	0.0%
2. 目標・将来計画等について						
①	生活介護（南棟入所）	40.1%	14.2%	40.5%	3.4%	1.8%
②	生活介護（北棟入所）	41.9%	25.6%	27.5%	4.4%	0.6%
③	短期入所	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%
④	機能訓練（入所）	68.4%	5.6%	9.3%	13.0%	3.7%
⑤	機能訓練（通所）	55.5%	25.9%	7.4%	5.6%	5.6%
⑥	生活訓練（通所）	50.0%	25.9%	13.0%	11.1%	0.0%
3. 基本的サービス内容について						
①	生活介護（南棟入所）	47.2%	13.5%	34.9%	2.4%	2.0%
②	生活介護（北棟入所）	48.5%	18.5%	25.9%	5.1%	2.0%
③	短期入所	19.7%	23.2%	57.1%	0.0%	0.0%
④	機能訓練（入所）	64.7%	12.1%	13.1%	7.1%	3.0%
⑤	機能訓練（通所）	80.3%	11.1%	7.4%	1.2%	0.0%
⑥	生活訓練（通所）	74.8%	18.2%	3.0%	4.0%	0.0%
4. 総合的な意見・感想について						
①	生活介護（南棟入所）	46.1%	13.2%	36.8%	2.6%	1.3%
②	生活介護（北棟入所）	40.5%	31.3%	18.8%	6.3%	3.1%
③	短期入所	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
④	機能訓練（入所）	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
⑤	機能訓練（通所）	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
⑥	生活訓練（通所）	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%

(利用者からの意見等)

【生活介護(入所)・短期入所】

- ・職員に心をゆるしているのも何でも言える。
- ・職員がよくやってくれている。
- ・いろいろと親切にしてもらっている。
- ・生活に慣れているから特にない。
- ・ご飯がおいしい。
- ・風呂、ご飯に満足している。
- ・もっと外出したい。
- ・旅行に行きたい。
- ・自分の好きなように生活できているので満足。
- ・スタッフの方が皆優しいので満足している。
- ・大きく体調を崩すことなく生活できている。
- ・自分で思うように生活しています。
- ・もっとリハビリがしたい。
- ・現状維持して欲しい。
- ・もっとリハビリを増やしてほしい。
- ・感動するほど食事がおいしく満足している。
- ・1人部屋で生活できていることが満足。
- ・楽しいです。

- ・十分楽しんでます。
- ・介護タクシーで遊びに行ったり買い物に行けるようになりたい。
- ・鏡の位置が高いからその人に合った位置にしてほしい。
- ・重要なことの説明が事後報告なので事前にきちんとして欲しい。

【自立訓練(入所・通所)】

- ・病気をしてへこんでいた自分を楽しませてくれた。・利用者の要望をちゃんと聞いてくれる。
- ・利用しやすい施設だと思います。・設備が良い。・案内などがわかりやすい。
- ・土日などが暇すぎる。訓練している入居者も買い物できるように売店時間を延ばしてほしい。
- ・マシーン運動、平行棒、階段練習、色々と充実しているので目標に向かって毎日頑張れたと思います。
- ・PT、OT、STさんがあまりに忙しいと思います。(※現在STの配置は無しなので、生活支援員または看護職員のことと推察される)・職員の数が少ない。
- ・マシーン運動、平行棒、階段練習、色々と充実しているので目標に向かって毎日頑張れたと思います。
- ・バリアフリー施設ということで安心して利用できる一方で自分が将来どうしていくかを相談してもあまりしっくりとした回答が得られない面など問題は多々あると思います。
- ・トイレの手を拭く紙の位置が低くなると良いと思います。
- ・職員の方が丁寧に対応してくれるので良いと思います。・職員のサービスがいきとどいている。
- ・将来どうしていくかを相談できる方がもっと増えると様々な意見を取り入れられると思います。
- ・職員の方々が利用者目線で接してくださるので大変過ごしやすく快適です。
- ・職員の方とも気軽に話せるし、話しやすいから。・職員が親切。
- ・もう少し苦情があったりしたら、その後の改善されているかちゃんと調査してほしい。
- ・家族との面会時に居室の確認をしてもらいたい。

(調査結果分析)

前年比では全体的な満足度が増加傾向となった。要因として寮編成後の環境整備や日中活動の見直し、寮を越えての参加が影響していると考え。しかし、高齢化や重度化による身体状況の変化への受容の支援や説明への理解の確認が不足したこと、寄り添う気持ちが不十分であったことが不満に繋がったと考える。今後はより丁寧な説明や確認を行い自己決定が充実できるように支援をしていくことが必要であると考える。

(調査結果への対応状況)

【生活介護(入所)・短期入所】

- ・食事は選択食をできるだけ多くし楽しみの機会を提供している。
- ・個人活動(個別の日帰り施設外活動)を利用して、希望の場所へ行けるよう調整をしている。
- ・リハビリは専門職以外にも支援員が自主訓練を支援できるよう、専門職が支援員へレクチャーをしている。
- ・バス利用に向け訓練や評価を行い、安全に利用して本人が自由に行きたいところに行ける支援を今年度行った。
- ・鏡は使いやすいようにその人の状況に合わせ工夫をした。
- ・2ヶ月に1度、ご利用者との話し合いを開催し情報交換を行っている。また、変更等の予定が分かった時点でその都度説明を行っている。伝わりづらい方には個別に寮長が対応をしている。

【自立訓練(入所・通所)】

- ・職員の配置状況は満たしているが、より、ご利用者のリハビリ環境に寄り添えるよう体制を見直した。
- ・トイレに新しくペーパータオルホルダーを購入し、手の届く位置への配置を確認した。
- ・毎月ご利用者との会議をおこなっており、苦情等の内容や対応状況をお伝えした。
- ・将来のことについて、必要に応じて相談支援事業所も担当者会議に参加していただき話し合いを行っている。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

- ・退院後の支援に関する苦情があり、第三者委員へ報告し苦情申出者立ち合いの下、苦情解決委員会を開催した。第三者委員より、心情を汲んだ対応を行うために、「自立支援グループと生活支援グループの連携に力を入れ、ルール化を図る」、「入所の自立訓練ご利用者に、夜間と休日の看護職員の対応について、利用開始時に説明するマニュアルを作成する」等の助言をいただく。退院時診察に自立訓練の看護職員だけでなく寮長(不在時は上席)も同席するルールとし、連携用のシートを作成した。また、自立訓練利用開始時に説明する書面に、医療面では、地域生活と同じように休日や夜間は基本的に対応を行わないので、平日日中に申し出ることを加え、緊急時はその限りでない旨も記載した。これらのことを申出者に説明し、ご理解いただき解決となった。
- ・支援中の職員の言動に対する苦情があり、第三者委員へ報告し苦情解決委員会会議を開催した。第三者委員より「介助を依頼しなければならない気持ちを考える」「プロとしての仕事を意識する」等の意識改革の必要性の助言をいただき、助言内容を職員に書面で指導した。また、虐待防止センターへ相談を行い「虐待ではなく、不適切ケアとして対応し、施設内での改善対応を継続するよう」に助言を受けた。これらのことを申出者に説明し、ご理解いただき解決となった。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価 (A: 優良、B: 良好、C: 要努力、D: 要改善)

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力している。	<評価できる事項> ・食事や個人活動では利用者の希望に添えるよう工夫しており、苦情や要望にも丁寧に対応している。 ・実習生の受け入れや研修の実施により、県内の福祉人材育成に努めている。 <改善すべき課題> 個人情報の漏えい防止等については、再発防止のため各職員の意識づくりやルールづくり等、今後も十分ご配慮いただきたい。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	A
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	B

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	B	・難病の中でも最も困難なALSの方が2名平成29年5月から利用いただいております、看護と介護が一体となり安全な医療ケアを継続している。令和7年4月に組織改編を実施し、組織上の一体化も実現し、更なる協力体制を構築するべく準備した。 ・感染症対策を十分に行った上で、福祉人材育成に繋がる介護福祉士・社会福祉士・理学療法士・作業療法士実習や、社会貢献に繋がる外国人技能実習生の受け入れを行っている。 ・重度の障害者及び難病の方を積極的に受け入れている。 ・生活介護の施設では数少ない、看護職員の夜勤体制を維持し、充実したケア体制を構築している。 ・個別ケアを重視し小さい単位のケア(少人数化)を寮体制で実施している。 ・個人活動(個別の日帰り施設外活動)は、感染症対策を講じながら一定の条件のもと、社会参加の機会や余暇の充実を図った。 ・利用者行事の中でも、10月に秋まつりで和太鼓ショー・打ち上げ花火を実施、11月にご利用者の作品展示を中心とした文化祭を開催した。作品制作の充実感や展示作品を他の方に観てもらい喜びを味わっていただき、ご家族にも観ていただいた。 ・県内の福祉人材育成のため、他事業所の職員へ向けた研修会として、7月6日に「高次脳機能障害の地域支援～当事者と家族の思いをのせて～」、11月に群馬県より受託した高次脳機能障害支援者養成研修(基礎・実践研修)、難病等支援については、1月28日に「透明文字盤や意思伝達装置を用いたコミュニケーション支援について」、3月4日に「難病療養中のご利用者から現在・今後のサービス利用についての心情を聞く」を開催した。また、「群馬県高次脳機能障害支援連絡会」に委員として、「ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会」では実行委員として、発足当初から毎年、担当職員が出席し、県内における高次脳機能障害者支援の普及・充実に努めた。 ・高次脳機能障害については、8月と10月に所内研修も実施し職員間で知識を深めた。 ・所内でBCP研修・訓練を実施し、職員への周知に努めている。
評価委員会の年度評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。

注) 「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。